

## 冷たくて気持ちよかった

### 田んぼの学校草取り体験

一関地方有機農業推進協議会と大東レクリエーション協会大東地区あそびの城が主催する「田んぼの学校」は7月3日、大東町大原地内の有機水田で「生き物調査&草取り体験」を実施。小学生と父母など約40人が参加しました。

6月に田植え体験で自分たちが植えたイネの生長を確認しながら、田んぼに素足で入り、手で雑草を取ったり、手押し除草機を体験したり、田んぼにいる生き物を捕まえたり。参加した小学生は、「田んぼの中はぬるぬるしているけど、冷たくて気持ちよかった」と泥まみれになっていました。



手押し除草機のコツを教えてもらい体験する小学生



祖父母らと協力しながら笹に飾り付けをする園児たち

## 願い込めた短冊を飾って

### 幼稚園で七夕祖父母参観

梅雨に入りじめじめした暑さが続く7月6日、花泉町のいずみの森幼稚園(岩淵健園長、園児74人)では七夕祖父母参観が行われました。

大好きな祖父母と一緒に登園した園児たちは、朝のあいさつや歌の後、折り紙でちょうちんや輪つなぎなどを協力して制作。「ゴセイジャーになりたい」「家族が元気に暮らせますように」など、園児と祖父母がそれぞれ願いを書いた短冊と一緒に笹竹に飾り付けました。その後、同園教諭が七夕の話を紙芝居で披露。園児たちは、一年に1度会える彦星と織姫の物語に聞き入っていました。



十分にウォーミングアップをして出発する参加者

## ウォーキングマップ完成

### かわさき健康塾がお披露目

砂鉄川堤防ウォーキングマップは7月6日、市とかわさき健康塾主催のウォーキング交流会でお披露目されました。

同マップは、いちのせき元気な地域づくり事業を活用してかわさき健康塾(藤江元・会長)が制作。川崎公民館を発着点とした、砂鉄橋を渡りいちごハウス「もぐもぐの里」方面に歩くもの。来た道を引き返す約2kmの「もぐもぐ折り返しコース」や砂鉄川に沿って堤防を歩く約3kmの「もぐもぐ周遊コース」、そして鶴巻橋を渡る「右岸～左岸コース」の約5kmの3つのコースがあります。マップはコースごとに色分けされており、川崎地域全世帯に配布されます。ぜひ、実際にコースを歩いてみてください。



10数m先のポイントをめがけてシュート!



地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

## 気軽にゲーム楽しく交流

### 千厩シャッフルボード大会

市体育協会千厩支部が主催する第3回千厩地域シャッフルボード大会は7月4日、千厩体育館で開催されました。年齢性別を問わず気軽に参加できる軽スポーツとして、町内で数年前から楽しめるようになったシャッフルボード。昨年初めて千厩地域大会が催され、今大会には町内の自治会から男女別に計31チームが参加しました。

参加者らは、一喜一憂しながら和気あいあいとゲームを楽しみ、予選リーグを勝ち進んだ男女各8チームが決勝トーナメントで対戦。寺沢女子チームの金野節子さんは、「手軽に楽しめて駆け引きが楽しい。チームワークが良いので上位入賞したいです」と息を弾ませていました。

## 和気あいあいとプレー

### 自治会対抗野球大会

室根町自治会対抗野球大会(室根野球協会主催)は7月4日、室根野球場と室根中学校校庭を会場に、11チームが参加して行われました。26回目となる今大会は参加資格を変更し、市内に居住する室根町出身者も参加可能としたことから、幅広い年代構成となりました。

お昼ごろには一時的な雷雨に見舞われましたが、トーナメント戦による熱戦が繰り広げられ、選手たちは自治会の団結力を発揮しながら、和気あいあいとプレーしていました。

優勝は、昨年に引き続き第4区自治会。準優勝は田茂木自治会でした。



この一打でヒーローに!

## のどはあなただけの楽器

### サーカスと共演「声の学校」

「Mr. サマータイム」などのヒット曲で知られるコーラスグループ「サーカス」のコンサートが6月25日、一関文化センターで催され、「声の学校」に応募した市民ら34人が舞台上でサーカスと共演しました。

人と人のつながりの原点である声を通じて多くの人と触れ合いたいとサーカスが提唱した声の学校。公募に応じた参加者は3回の事前練習を経て、当日のリハーサルでサーカスメンバーが直接指導。コンサートの最後に舞台上上がり、「家族写真」など2曲を心を込めて歌い上げると、会場は温かな空気で包まれました。最年少の参加者、泉真澄さん(一関小4年)は「知らない人たちと歌うのは緊張したけれどいい経験になった」と笑顔を見せました。



「サーカス」と舞台上で共演した「声の学校」参加者



真剣な表情で工作に取り組む子供たち

## 科学っておもしろいね!

### 風力自動車づくりに挑戦

石と賢治のミュージアムが主催する一関高専出前講座「風に向かって走るウインドカーを作ろう」は7月3日、同館で開催され、小学生とその保護者など約20人が風力自動車づくりに挑戦しました。

子供たちにもものづくりの楽しさを体験してもらおうと行われたこの講座。今回は輪ゴムの力を利用してプロペラが動き、風に向かって走るウインドカーを親子で作りました。子供たちは、出来上がったウインドカーを扇風機の前で走らせながら、科学の不思議さと工作の楽しさを感じているようでした。